

# 美術科授業案

日時 平成24年10月19日（金）

生徒 1年A組 男子19名 女子19名 計38名

授業場 美術室

授業者 更科 結希

## 1 題材名

「季節を味わう」【A表現（1）、（3）】

## 2 題材について

### （1）題材観

本題材は、校舎周辺の木々をスケッチしたものを構成しながら、自然の季節を味わい、色紙に表現していくものである。前時において、自分のお気に入りの木を見つけ、スケッチやフロッタージュを通して観察をおこなった。その時にとらえた素材を元に、形を描き、着色を加えながら作り上げていく。

暮らしの中に自然はたくさんあるが、深く観察する機会は少ない。自然の形には、造形表現につながる要素が存在し、多くの美術家が参考にしている。生徒が、自然の形にはどんなものがあるのかを知り、また木々の形の特徴を観察することは、様々な物の形や色を主体的に見ていこうとする力が必要となる。今回は校舎周辺の木々に目を向け、身近な学校生活で目にする木々から感じ取り表現していくものとした。

「季節を味わう」ためには、自然の色や形に着目しなければならないだろう。釧路の秋は天候も良く色の変化を敏感に感じ取れる時期であり、季節に着目した題材は今時期が最良であると判断した。生徒の慌ただしい1年間の中で、じっくりともものを見つめ色の変化に気づき、そして形にしていく時間を本題材を通して確保したいと考えた。

表現するための基礎としてスケッチの重要性は、以前から学習指導要領でも重視されてきた。そこには、表現の根本には物事を深く観察することが不可欠であり、「見る」と、「観る」との違いに気づくことが大切であることを表している。その技能を習得した上で、感情の表現につなげていく経験も必要であると考えた。

また、本授業で制作した色紙作品は、次時でそれを飾るための額縁を制作していく題材につなげていく。題材が連動していく取り組みのひとつとしている。

### （2）生徒観

生徒観省略

### (3) 指導観

本題材は、学習指導要領 2 内容 A 表現 「(1) 感じ取ったことや考えた事などを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。」の「イ 主題などを元に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること」に該当する。そして、[共通事項]「(1) のア：形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。イ：形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」を本題材を通して指導していく。

対象を見つめ感じ取ったことを、形や色を使い表現するということは、美術科の基礎である。生徒が感じた事が少なければ、表現される内容も少なくなるだろう。そのため、木々の観察や対象を捉えるための時間を確保し、言葉やスケッチ、フロッタージュなどの方法で捉えてきた。ひとつのものを具体的に観ることを通し、更に自らの感じたことと結びつけることができるだろうと考える。スケッチを通して生徒がどのような事を感じ取るかが、本題材において更に季節感を表現する際に大きく関わってくる。

新学習指導要領の内容の取り扱いにおいて、スケッチの活用は具体的に提示されているが、本題材では、①の自然や人物、ものなどをじかに見つめて、諸感覚を働かせ、様々な視点から対象をとらえて描くスケッチに該当している。

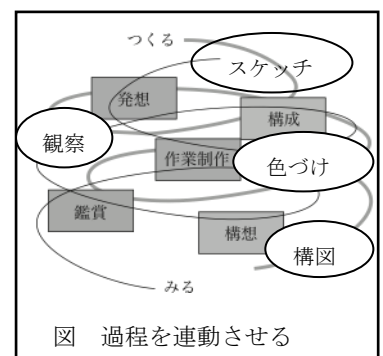
#### ※研究の視点

##### ①表現領域において創造活動をより深めていくための手立て A

A-1「自己の視点」：生徒が「つくる」場面で、自分自身の視点で「みる」場面を設定する。

A-2「他者の視点」：生徒が「つくる」場面で、他者の作品に関して知識を生かした意見や、活動をする。

本題材は、個人的な想いで表現を行うものであるが、生徒が感じ取った事や表現途中のものを振り返る時間を設定し、他の人に見てもらふ時間をつくり、次のつくる場面で何に意識するかを決める事ができるような「みる」場面を設定する。



## ②各題材に置ける系統制を重視した「みる」に関わる視点を設定する手立て B

本題材においての視点は、描く際の「バランス、強弱、素材感、形、色、想い」などに関わる項目に重視する。これらの視点で意見を述べたり、自分で「みる」ことを行うことで、対象とのつながりを感じ取るきっかけとしたい。また、他者の「みる」場面では、相手に対してアドバイスを述べる際に、これらの視点を重視していく。視点を置くことで、自らの作品をより深く「みる」ことにつながり主体的な表現活動に結びつくことを期待している。

### 3 題材の目標

対象の形や色の特徴を生かしたスケッチを行い、自然から季節を感じ取り、そのイメージを表現に結びつけていくことができる。

### 4 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを表現することに関心を持ち、主体的に主題を生み出そうとしている。	対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを、美的感覚を働かせながら考え、構成や表現の構想を練っている。	形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて着色したり、表したいイメージを持ちながら、見通しを持って表現している。	対象の造形的な美しさやイメージ、作者の心情や意図との表現の工夫、形や色彩など作品に込められた想いを感じ取り、考えをまとめている。

### 5 題材指導計画（4時間計画）


時	学習事項	主な学習活動・手立て	評価			
			関	発	創	鑑
前題材	My Favorite Tree	自分のお気に入りの木々を見つけ、その形の特徴をみつけ、スケッチやフロッターージュを用いてとらえる	/			
1	◆自分の感じる季節をまとめる ◆スケッチした形から配置を考え下描きをする	○自分の感じる季節をまとめ、どのように描きたいか構想をまとめる ○スケッチしたものを元に、画面の構成を考える	○	○		○
2	◆色紙へ下描きをし、ペンで描いていく	○観察して描いた形に注目しながら、線の強弱を意識して描く事ができる ○自分の想いを振り返りながら描いていく A-1	○		○	○
3	◆季節の色を感じながら着色する ◆完成した作品と自分の	○自然から感じ取った季節の色について、考えながら着色する ○自分の作品や、他の作品を観ながら自らの作品を工夫し、つくる A	○	○		○
4	想いをまとめる	○完成した作品と自分の想いを照らし合わせながら鑑賞する A-1	○		○	○
次題材	アイヌ文様を生かした額縁づくり	色紙大作品を入れるための額縁を木彫技法を使い表現していく。	/			

## 6 本時案

### (1) 本時の目標

木々の形を線で強弱をつけながら描き、季節を感じながら着色の工夫を行うことができる

### (2) 本時の展開 (○…発問, △…補助発問, □…指示, 説明)

主な学習活動	教師の働きかけ・手立て	【評価方法】・備考
<p>1 前時に考えた配置を確認することができる。</p> <p>2 スケッチを通して感じた季節について自分の考えを書くことができる。</p>  <p>[割り箸ペンを使った表現]</p>	<p>□前時に、スケッチの配置を考えました。どのようなものができましたか自分の作品をみてみましょう。A-1</p> <p>○スケッチをペンで描き、色をつけていきます。</p> <p>○最近の外の景色や歩いていて、みなさんはどんなことを感じますか？</p> <p>△最初にスケッチやフロッターージュした頃と比べてみて下さい。</p> <p>体で感じる季節【寒い、暖かい、風、秋、夏の終わりなど】</p> <p>目で感じる季節【緑、夏の緑との違い、黄色味、赤味がかっている、枯れつつあるなど】</p>	<p>【観察】</p> <p>【観察・ワークシート】</p> <p>生徒の机上には、スケッチしたものをまとめた資料が並んだ状態</p>
<p>自然から感じ取った季節の色や形を表現しよう</p>		
<p>3 季節から感じ取った色で描いていく事ができる。</p> <p>4 自分の描いたものを、少し離して、色合いや形などをみることができる。</p> <p>5 自分で作品を観た事をもとに、再度季節から感じ取った色で描いていく事ができる。</p> <p>6 今日の授業の取り組みを振り返る事ができる。</p>	<p>□絵の具で、自分が感じた色を作り描いていきましょう。</p> <p>□周囲の人に、作品を持ってもらうなどして、自分の作品をみてみましょう。また、アドバイスをもらいましょう。A</p> <p>□どんな季節の色を表そうとしているか、再度振り返りましょう。</p> <p>□自分の作品をみて感じた事を生かし、描いていきましょう。</p> <p>□今日の取り組みを振り返りや、次の時間に取り組みたい事をワークシートに記入しましょう。</p>	<p>【作品・観察】</p> <p>【観察・ワークシート】</p> <p>グループを基本とした作品の交流</p> <p>もらった意見などは、ワークシートに貼る</p> <p>【作品・観察】</p> <p>【ワークシート】</p>

